

深い水瓶・淨瓶・鉄鉢形土器・合子等の出土、写経用定規の出土、日常生活にはあまり縁のない彩釉陶器の出土、「コ」の字型に配慮された掘立柱建物の検出を見たことなどにより、ハバ遺跡は当時「三千寺」と呼ばれた寺院の跡と考えられる。

立地条件の特異性は、今後究明すべき課題である。

8 木簡の釈文・内容

- (1) $\begin{matrix} \cdot \\ \cdot \end{matrix} \begin{matrix} \rceil \\ \rceil \end{matrix} \begin{matrix} \text{道} \\ \text{道} \end{matrix}$ $\begin{matrix} \cdot \\ \cdot \end{matrix} \begin{matrix} \rceil \\ \rceil \end{matrix} \begin{matrix} \text{有} \\ \text{有} \end{matrix}$ (109) $\times 39 \times 4$ 039

- (2) □山寺□ (185) × 35 × 2 081

- (3) □家□間□大大大大大 (158) × 26 × 14 061

(1)(2)は習書木簡で、(3)は写経用定規に墨書したものである。

なお、木簡の釈読は、国立歴史民俗博物館の平川南氏のご教示による。

9 参考文献

金沢市教育委員会・毎田建設株式会社『金沢市三小牛ハバ遺跡調査概報』（一九八八年）

(南久和)

木簡研究 第八号

卷頭言——最後まで残る仕事——

青木和夫

一九八五年出土の木簡

概要 平城宮・京跡 平城京左京三条六坊七坪 平城京右京七条一坊十五坪 長岡京跡(1) 長岡京跡(2) 長岡京跡(3) 平安京左京三条三坊十一町 平安京左京六条一坊八町 平安京左京九条三坊十四町 平安京右京八条二坊二町 平安京右京八条二坊五町 鳥羽離宮跡 伏見城跡 西ノ辻遺跡 観音寺遺跡 犬飼堂廃寺 穂積遺跡 玉津大淵遺跡 沓掛城跡 勝岡田城跡 神明原・元宮川遺地 朝日西遺跡 田中遺跡 辻井遺跡 長尾沖田遺跡 但馬国府推定地 今小路周辺遺跡 鶴岡八幡宮境内研修道場用地遺跡 鹿島湖岸北部条里遺跡 西河原森ノ内遺跡 勧学院遺跡 金剛寺城跡 柿堂遺跡 法界寺跡 今泉城跡 富沢水田遺跡 中尊寺伝三重池跡 胆沢城跡 浪岡城跡 俵田遺跡 秋田城跡 九十九橋 一乗谷朝倉氏遺跡 三木だいもん遺跡 弓丘城跡 番場遺跡 小島西遺跡 富田城跡 草戸千軒町遺跡 尾道遺跡 備後国府跡 秋月遺跡 大宰府跡 大宰府条坊跡 豊前国府跡 如法寺遺跡

一九七七年以前出土の木簡（八）

平城宮跡(第一次・第五次・第四〇次・第四一次・第四三次)
唐招提寺講堂地下遺構

中国简牍研究的新动向

中国簡牘研究の新しい動向

倉札・札家考

柚井遺跡出土木簡の再検討

出土の文字資料からみた中世民衆生活の一面

——草戸千軒町遺跡を中心に——

彙報

頒価 三八〇〇円 千四〇〇円